



2026年6月11日

各位

会社名 ジャパンM&Aソリューション株式会社
(コード番号：9236 東証グロース)
代表者名 代表取締役社長 三橋 透
問合せ先 管理部 長 小坂 竜義
(TEL.03-6261-0403)

2026年10月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年6月11日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、以下のとおり2025年12月11日に開示した2026年10月期の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 990	百万円 108	百万円 129	百万円 109	円銭 73.72
今回発表予想(B)	990	178	196	143	96.71
増減額(B-A)	0	70	67	34	—
増減率(%)	0.0	65.0	52.1	31.3	—
<ご参考>前期実績 (2025年10月期)	654	△56	△52	△85	△56.62

2. 修正の理由

当第2四半期累計期間における業績につきましては、当期上期より本格始動いたしましたファンド事業の第1号案件におきまして、当社の収益基盤に大きく貢献する利益率の高い大型案件の成約に至ったことが、全体の業績を強力に牽引する結果となりました。

加えて、成長投資として進めてまいりました「AI ロングリスト作成システム」の本格稼働等により、自社における買手企業の探索力の精度が大幅に向上いたしました。これにより、従来発生していた提携先への紹介料をはじめとする外部コストを大幅に抑制することができ、内製化による収益性の向上が実現いたしました。

これらにより、売上総利益率は前事業年度 27.9%から、当期第1四半期会計期間 35.3%、第2四半期会計期間 50.5%（第2四半期累計期間では 45.7%）へと、極めて高い水準で推移しております。

費用面におきましては、システム開発投資やインフラ整備等の増加要因があったものの、徹底した業務効率化とコストコントロールを推進し、販売費及び一般管理費を抑制することができました。

以上の結果、売上総利益率の劇的な改善および販管費の抑制により、第2四半期を終えた現時点において、前回公表いたしました通期の各利益予想数値を既に達成する極めて堅調な推移となりました。

これら足元の順調な業績進捗を踏まえ、2026年10月期の通期業績予想を見直すことといたしました。なお、当会計年度は第2四半期を終えた段階であり、下期における今後の事業環境の変化や不確定要素による影響の可能性も慎重に考慮しつつも、引き続き案件の順調な成約に向けて注力していくことを想定していることから、現時点で合理的であると判断した業績予想値へ修正するものであります。

以 上